

令和4年度 第1回 医療事業推進委員会 地区リーダー育成研修会 報告

日時 令和4年8月27日(土)・28日(日)
場所 大阪府栄養士会事務局 Web開催

1. 報告事項

1)第2回医療事業推進委員会報告

- ・6月19日に行われた第2回医療事業推進委員会の報告があった。

2. 協議事項(統一議題)

1)会員増対策

- ・2029年に6万人の団体を目指すために、魅力的な職能団体を作り上げるためにどのような事業運営が望まれるか?また各県で実施している会員増対策について共有し会員増対策に向けた取り組みについて協議した。

- ・今回、会員増対策WGを立ち上げて、今までの地区リーダー研修会で出た意見を解析した。2022年度の医療会員数目標を22000人で設定し、解析した5つの課題、①魅力②対象者③方法④環境⑤会費についての対応が必要である。

2)食事療法学会の今後の開催について

新型コロナウイルス感染防止の観点から2020年より食事療法学会をオンライン開催で実施してきた。今後、アフターコロナとして食事療法学会の運営をどのようにするかを協議した。オンライン開催時でのアンケートでは継続してオンライン・オンデマンドでの開催を多くの会員が望まれており、以前の集合型のみでの開催は難しくなってきた。

3)病院栄養部門実態調査回収率アップの取り組みについて

病院栄養部門実態調査の回収率が昨年度で約30%であった。実態調査は診療報酬改定の基礎資料として重要な調査であることから、回収率アップについて協議した。年々実態調査の質問が難しい、煩雑といった意見もあったが、やはり、電話等での声掛けで忘れていた会員も救えることから可能な範囲で声掛けをしていくべきではないかという意見があった。

4)がん病態栄養専門管理栄養士の取得勧奨について

がん拠点病院においても30%はがん病態栄養専門管理栄養士が在籍していない病院があることがわかっているため、がん拠点病院におけるがん病態栄養専門管理栄養士

の取得勧奨について協議した。取得しやすさ、資格取得のメリットなどが取得者増の鍵になるのではという意見があった

5)認定管理栄養士、がん以外の専門管理栄養士の取得勧奨について

がん以外の専門管理栄養士(腎臓、糖尿病、摂食嚥下、在宅)について各専門管理栄養士で全国で100名程度しかいない。また、その基礎となる認定管理栄養士も全国的に少ないため今後取得者増の方策について協議した。これについても取得しやすさ、資格取得のメリットなどが取得者増の鍵になるのではという意見があった。

6)PES報告の全国展開について

政府のデータヘルス改革において、医療においてもデータの利活用が検討されており栄養情報のデータ化に都合のよいPES報告の活用が計画されている。医療職域ではPESを全国展開し、データヘルス改革に対応するべく今年度から全国展開に必要な都道府県でのフロント管理栄養士(PES報告を研修会等で会員に伝達ができる管理栄養士)の育成をおこなっている。

7)機能強化型栄養ケア・ステーション設置勧奨対策について

近年、診療報酬改定での栄養ケア・ステーションの評価が高まっていることから、医療職域においても栄養ケア・ステーションの設置勧奨を進めなくてはならない。設置勧奨にあたっての課題について協議した。設置にあたっての煩雑な手続きや収益性などの意見があった。

8)令和6年の医療・介護の同時改定へ繋ぐ現状の課題とその対策について

令和6年の診療報酬改定に向けて現状での問題点、要望事項について協議した。食事療養費に関することや様々な加算についての要望などがあげられた。

3. 栄養ケアプロセスの講義・演習

2日目はPES報告に対応するため研修(都道府県でのフロント管理栄養士設置に向けての研修)として栄養ケアプロセスの講義・演習が行われ、2日間の研修会が終了した。

(文責 医療 内菌雅史)